



田空だより

# なすの大地

第6号

2005年8月号 (通巻第6号)  
那須野が原西部田園空間博物館運営協議会  
企画広報部会 編集・発行

## 会長あいさつ

那須野が原西部田園空間博物館運営協議会  
会長 安田 朝吉

那須野が原は、那須疏水や大規模農場群に代表される明治時の開拓により、緑豊かな大地に生まれ変わった歴史を持っています。一方、湧水に恵まれた地域では縄文時代の遺跡があるなど古くから人々が生活し、江戸時代には<sup>ひきぬま</sup>墓沼用水により<sup>にわたこ</sup>飲用水が確保され、接骨木街道などに沿って宿場町が栄えました。

田園空間博物館のサテライト（展示物）は地域の方々が選んだものです。このサテライトは巡回ルートで結ばれ、楽しく散策ができます。

整備されたサテライトについてご案内いたしますと、総合案内所（那須野が原博物館に併設）、三島農場事務所跡の水辺とヤウラ（※）（総合案内所敷地内）、那須疏水水車、那須開墾社事務所堀（三区町）、乃木清水（石林・乃木神社敷地内）、赤田山（上赤田）、那須疏水蛇尾川サイフォン出口（横林）、松方別邸、那須疏水探訪の小径（千本松）、那須開墾社第一農場跡親王台（一区町）であります。あと数箇所の整備が残っています。

本協議会の今年度の活動内容は、主なものとして、①田園空間博物館の計画・整備に関する検討 ②地域リーダー等の人材育成 ③サテライトの利活用・保全及び維持管理方法の検討 ④普及促進のための広報活動（広報の発行・ホームページ開設のほか、とちぎテレビの活用も検討中）であります。皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

（※）ヤウラ…建物の北西側につくられたからっ風（季節風）を防ぐための防風林のこと。



（上写真）総合案内所（那須野が原博物館と併設）の全景

（左写真）総合案内所内部

## サテライト紹介 (第6号)

### 那須疏水探訪の小径(千本松)

那須野が原にあった広大な原っぱは川や泉がなく、土地がやせていたために開拓が困難な土地でした。

1885(明治18)年9月15日、開拓者たちの熱い願いである疏水が完成を見ました。これが日本三大疏水(※1)の一つといわれる那須疏水(※2)です。



特に国道400号と那須野が原公園を結ぶ県道沿いの本幹水路には、今ではたくさんの小・中学生が開拓の歴史を学ぶために訪れるほか、緑豊かな自然を満喫するため散策する人々が増えています。

また、隣接する松林内には那須疏水よりも早く敷かれた那須原飲用水路跡(※3)や那須疏水開削時に出た残土の遺構であるでこぼこの盛り土が残っています。田園空間博物館では、この疏水沿いの小道を「探訪の小径」として整備し、訪れた人々がくつろげ、学べる空間にしたいと考えています。

#### (※1) 日本三大疏水

那須疏水(栃木県)、<sup>あさか</sup>安積疏水(福島県)、<sup>びわこ</sup>琵琶湖疏水(滋賀県~京都府)

#### (※2) 那須疏水

那須疏水は古くは<sup>なか</sup>那珂川と<sup>きぬ</sup>鬼怒川間の総延長45kmを運河で結びその間の水運を確保するという大運河構想に端を発しています。1885(明治18)年、県令三島<sup>みちつね</sup>通庸や地元有志である印南文作、矢板武らの尽力により、国の土木局直轄工事として延長16.3kmの那須疏水本幹が約5ヶ月という驚異的なスピードで開削され、翌年までには第1から第4分水路(46.5km)が引き続いて完成しています。その後2回の取入口を始めとする改修を経て、1967(昭和42)年から1995(平成7)年までの国営那須野原総合農地開発事業により、那須疏水・<sup>ひきぬま</sup>曇沼用水・<sup>き</sup>木の<sup>また</sup>俣用水などの大改修及び用水系統の統合が行われ現在に至っています。

#### (※3) 那須原飲用水路跡

那須原飲用水路は那須野が原の開拓にあたった移住人や家畜などの飲み水のために1882(明治15)年に開かれました。水是那珂川から取り入れられ、那須野が原を横断し、千本松に至る約15.2kmの本幹水路と、延長30数kmに及ぶ3本の分水路がありました。しかし、3年後の1885(明治18)年9月、那須疏水が開かれその役割を終えました。現在は取り入れ口は残っていませんが、ところどころの山林の中に掘跡が残っています。

～ ホームページ開設のご案内 ～

田園空間博物館を皆様にもっと知っていただくために、ホームページを開設することにいたしました。



アドレスは下記のとおりです。

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>

### サテライト案内・説明者募集

田園空間博物館運営協議会では市内の7つのコミュニティ（旧西那須野町全域と旧塩原町の横林・接骨木地区）に設定された史跡や自然の景観、記念碑などのサテライトの案内、説明のボランティアの方を募集します。準備が整い次第講習会を実施します。

ご協力いただける方は運営協議会事務局（西那須野支所農務課農林整備係）へご連絡ください。

連絡先  
那須野が原西部田園空間博物館運営協議会事務局  
（那須塩原市西那須野支所農務課農林整備係）  
TEL 0287-36-1111（内線234）

## ☆コミュニティだより☆

サテライトを見学する試みがいくつかのコミュニティで行われています。

3月に中央地区コミュニティで「那須疏水探訪の小径」（千本松地内）や、「那須疏水蛇尾川サイフォン出口」（横林地内）など、疏水に関わりのあるサテライトを見学しました。那須疏水の清らかな水の流れや赤松の緑、小鳥のさえずりなどの四季折々の心地良さを感じることができたと参加した方たちには好評だったようです。

近くには千本松牧場や那須野が原公園、松方別邸などもあり、散策にはおすすめのところです。徒歩だけでなく、車でも行くことができますので皆様もぜひ……



復元された旧サイフォンのずい道  
(横林地内)

また、南地区コミュニティでは、7月3日に一区町・二区町・二つ室地内に点在している那須開墾社にゆかりのあるサテライトを巡回するルートを見学しました。



「親王台（那須開墾社第一農場跡）」（一区町地内）や「常盤ヶ丘（印南丈作・矢板武らのお墓があります。）」（二つ室地内）など開拓にまつわるサテライトをめぐる、先人たちをしのびました。

## 那須野が原ウォークを開催

昨年に引き続き、田園空間博物館のサテライトと那須疏水などの土地改良施設を巡る「那須野が原ウォーク」を開催します。

開催日は10月2日（日）で、参加費は無料です。

那須野が原公園周辺や那須疏水沿いを散策します。

このウォーキングに参加して先人達の苦勞と偉業を知るとともに、ふうこうめいび風光明媚な景観と自然の豊かさに触れ、心身共にリフレッシュしてみませんか。多くの皆様方の参加をお待ちしています。